

同時発表：経済産業省

平成 27 年 3 月 20 日  
自動車局環境政策課小型貨物自動車の新たな燃費基準(トップランナー基準<sup>※1</sup>)  
に関するとりまとめについて

小型貨物自動車の新たな燃費基準(2022 年度燃費基準)が、国土交通省及び経済産業省が開催した合同会議<sup>※2</sup>においてとりまとめられました。

## 1. 新たな燃費基準(2022 年度燃費基準)に関するとりまとめについて

「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づく小型貨物自動車に係る新たな燃費基準(トップランナー基準)について、国土交通省及び経済産業省が開催した合同会議<sup>※2</sup>において審議が進められてきたところ、今般、パブリックコメント<sup>※3</sup>を経て、2022 年度に達成すべき燃費基準がとりまとめられました(詳細別紙)。

今回の小型貨物自動車に係る新たな燃費基準の達成により、目標年度(2022 年度)において、2012 年度実績値と比べ 26.1%燃費が改善されることとなります。

## 【2022 年度燃費基準値の概要】

貨物自動車の種類	2015 年度燃費基準 (従来の燃費基準)	2022 年度基準 (新たな燃費基準)
乗用車派生タイプ	12.7km/L ~ 23.2km/L	16.9km/L~28.1km/L
バン・トラックタイプ	7.9km/L ~ 18.2km/L	10.2km/L~21.0km/L

## 【2022 年度燃費基準による燃費改善率】

	2012 年度実績値	2022 年度推定値 <sup>※4</sup>	2012 年度実績からの燃費改善率
小型貨物自動車の平均的な燃費性能	14.2km/L	17.9km/L	<b>26.1%</b>

※1: 現在商品化されている自動車の燃費性能をベースとし、技術開発の将来の見通し等を踏まえて策定した基準

※2: 総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会省エネルギー小委員会自動車判断基準WG・交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会自動車燃費基準小委員会合同会議

※3: 本とりまとめについての国民の皆様からのご意見及びご意見への考え方については、電子政府の総合窓口(e-Gov)のHP(<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public>)にてご覧頂けます。

※4: 目標年度(2022年度)における各区分毎の出荷台数比率が、2012年度と同じと仮定して試算。

## 2. 今後のスケジュールについて

今後は、本とりまとめを踏まえ、本年春を目処に、国土交通省及び経済産業省において、関連法令に基づく基準の改正を行う予定です。

### <参考：主な小型貨物自動車の例>

乗用車派生タイプ	
バン・トラックタイプ	

(本発表資料のお問い合わせ先)

国土交通省自動車局環境政策課

担当者: 盛田、升井

電話: 03-5253-8111(代表)内線 42535、03-5253-8603(直通)

経済産業省製造産業局自動車課

担当者: 田中、山中

電話: 03-3501-1511(代表)内線 3831、03-3501-1690(直通)

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課

担当者: 町田、内藤

電話: 03-3501-1511(代表)内線 4541、03-3501-9726(直通)

「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会  
省エネルギー小委員会 自動車判断基準ワーキンググループ」  
「交通政策審議会 陸上交通分科会 自動車部会 自動車燃費基準小委員会」  
合同会議 委員名簿

(敬称略・五十音順)

(座長兼委員長)

だいしょう やすひろ  
大聖 泰弘

早稲田大学理工学術院教授

(委員)

あおやま かよ  
青山 佳世

フリーアナウンサー

きば ひろこ  
木場 弘子

キャスター、千葉大学教育学部客員教授

くさか じん  
草鹿 仁

早稲田大学理工学術院教授

ごとう ゆういち  
後藤 雄一

独立行政法人交通安全環境研究所エグゼクティブ・シニア・リサーチャー

しおじ まさひろ  
塩路 昌宏

京都大学エネルギー科学研究科長

たけおか けい  
竹岡 圭

モータージャーナリスト

ちかひさ たけみ  
近久 武美

北海道大学大学院工学研究院教授

ながい まさお  
永井 正夫

東京農工大学名誉教授